



CANジャーナル

2025
令和7年
7月号

学校法人 中村学園
専門学校 静岡電子情報カレッジ
静岡福祉医療専門学校

「パーパス」、組織と個人のWillをつなぐもの

進路室長 橋野 幸男

株式会社デンソーという企業をご存知でしょうか。トヨタグループの一員で、自動車部品メーカーでは国内最大手（本社：愛知県刈谷市。連結データ：売上高 7.2 兆円、従業員数 15.8 万人）。従って、メディア露出も多く、最近では次のような報道がありました。

◇ 2024年12月に「創立75周年」を迎えた同社。かつての「デンソーギャラリー」を「デンソーミュージアム」としてリニューアルし、今年6月16日から一般公開。コンセプトは、「これまでとこれからの挑戦のストーリー」で、同社の過去・現在・未来を約250の展示で見ることが出来る。

◇ 2024年に1,800人いた「一般職」の職員を「総合職」に統合。「AI活用などで業務が高度化、一般職の見直しが進む」という波がメーカーにも押し寄せてきた事例の一つ（他に、ヤマハ発動機株式会社、スター精密株式会社、など）。

さて、そうした同社に関心を持ったのは、2021年策定の「人と組織のビジョン&アクション『PROGRESS』」（下図）に着目したからです。PROGRESSは、プロフェッショナルの「プロ」と、進化の「プロGRESS」の二つを掛け合わせた言葉です。

モビリティ社会へのパラダイムシフトが進むなか、同社は「人と社会の幸せに貢献」という大義〔＝「パーパス」：企業の社会的存在意義〕を掲げ、「人と組織が掛け合わせり、社会の幸せのためにインパクトある価値をお届けし、新しい『できる』を実現していく」という挑戦を開始する、と宣言したのです。

その『PROGRESS』では、社員一人ひとりの目指す姿を『実現力のプロフェッショナル』と定義し、人と社会の幸せのために「新しい『できる』を実現するプロ集団」になろう、と謳っています。ちなみに、実現力は『量産実現力』と『事業実現力』の二つを挙げています。

新しい事業や価値を創造する力を『事業実現力』と呼び、また、従来からの強みである信頼性の高いモノづくりで商品を普及させる力を『量産実現力』としています。そして、この実現力のプロフェッショナルになるための第一歩となるのが社員一人ひとりの「キャリア自律」です。これを「社員には『情熱で自己新記録に挑むプロ』になってほしい」と表現し、個人のキャリア自律を促す諸施策を実施しています。

企業は、皆さんの世代が「報酬や地位などに加えて、社会的意義や社会貢献を重視する傾向がある」と認識しており、従って、自社の「パーパス」をアピールすることに力を入れています（例えば、株式会社学情が昨年10月に公表した調査結果では、「パーパス」を制定する企業は「好感が持てる」と回答した学生が、約7割。「パーパス」を知ると志望度が上がるが、6割超。自分の「パーパス」や解決したい社会課題を意識しているが、約半数）。

さて、皆さんの「自己探索」「社会・企業研究」では、いかがでしょうか。



りました。そうした準備が、自分にとってとても大きな支えになったと思います。また、「緊張することは悪いことではない。」との校長先生のお言葉から、それだけ本気で向き合っている証拠だと受け止めることで、自分の気持ちも少し軽くなりました。

私は夏に、本番の就職面接を控えています。今回諸先生方からいただいた指導は、自分の気持ちを奮い立たせる良いきっかけにもなりました。自分の言葉で、自分の想いをしっかり伝えたいと思います。これからは一つひとつの機会を大切にしながら、自分自身としっかり向き合って、努力を重ねていきたいと思っています。



「自分らしく」

介護福祉学科2年 前島 圭吾

私は、面接指導に向け意識したことがあります。それは、挨拶励行・声量です。挨拶では、相手に敬意が伝わるようお辞儀を15度・30度・45度としっかり使い分けました。また受け答えは、まず「はい」と言うてから、はっきりと大きな声で話すことを意識しました。

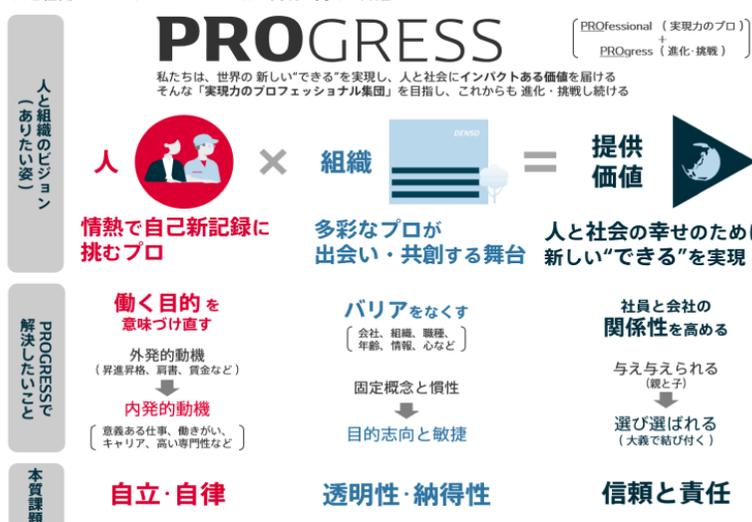
緊張のあまり、途中で言葉に詰まってしまうこともありましたが、つたないながらも相手に内容が伝わるよう意識しました。

今回いただいたアドバイスは、「緊張しながらも話し方でもっと自分らしさを出した方が良い」ということでした。また、「大変だったことを、ただ大変だったと終わらせるのではなく、その課題をどう工夫し改善しようとしているのかまで具体的に話す」と良いことも学びました。

今後就職活動を行なうにあたり、校長先生をはじめ諸先生方のご指導を活かし、自分らしさを相手に伝えられるよう採用面接に臨みたいです。



人と組織のビジョンPROGRESS 及び 実現に向けた課題



令和7年度

視能訓練士学科・総合福祉学科・介護福祉学科 面接指導

「与えられた機会を活かす」

総合福祉学科3年 田村 美羽

面接指導では、本番さながらの緊張感がありましたが、それがかえって背筋を伸ばしてくれるような、良い意味での程よいプレッシャーになったと感じています。

指導が始まる前には、面接官に何を聞かれるのか、自分は何を伝えたいのかを考え、声に出して練習したり、頭の中でシュミレーションした

「事前準備の重要性」

視能訓練士学科3年 稲葉 優名

今回の面接指導を通じて最も重要だと感じたのは、事前準備の重要性です。予想される質問への回答や自己PRを綿密に考え、万全の準備をして臨みました。しかし、第一グループとしてのプレッシャーや緊張により、志望動機を話す際に言葉が詰まる場面や、予想外の質問にうまく対応できない場面があり、本番の緊張を想定した準備の必要性を痛感しました。

また、友人の模擬面接を見学する機会があり、彼が明るい表情と構造的な答え方で臨んでいる様子から、内容だけでなく表情や声のトーンが相手に与える印象を大きく左右することを学びました。

面接官の先生方からは、自己アピールの構成や履歴書の書き方について具体的に的確なフィードバックをいただき、結論→理由→具体例の流れが整理され、伝えるメッセージに自信が持てるようになりました。

深呼吸や緩やかな話し方を取り入れたことで、震える声や言葉の詰まりが軽減され、本番で自分の強みや志望動機を自信を持って伝えられるまでに成長を実感しています。今後は練習を継続し、表情や声、非言語面も含めた総合的な伝え方をさらに磨いていきたいです。

最後に、この機会をくださった校長先生はじめ面接官の先生方へ、心より感謝申し上げます。



「面接指導を終えて」

音響&映像メディアクリエイイト学科 2年 池谷 駿佑

今回の面接指導に向けて、2年生になった4月から準備をしてきました。1ヶ月もあれば、十分に準備ができるであろうと考えていました。しかし、企業研究・自己分析を通しての履歴書の作成や面接で話す内容の準備だけでなく、そこでの礼法など、事前にやっておくべきことが多く苦労しました。

実際の面接指導では、「自分の売りを自分の言葉で表現する」という難しさを痛感しました。質問に対して、自分が本来話したい内容が合わなかったりするなど、上手くいかない部分がありました。そこで、先生方より自分の売りを話すために、履歴書の書き方を工夫して質問をもらえるように表現できると良いとお話をいただきました。

この面接指導での反省を活かして、よりしっかりと準備を行うことで自分の目指している職種への内定を獲得し、なりたい自分を実現できるように頑張っていきたいです。

7月の行事

- 1日(月) 2TW・CW第3期実習 ～7/19
- 3日(木) CP卒業生を囲む会
- 5日(土) オープンキャンパス 13:15～
- 6日(日) B検ジョブパス
- 17日(木) 3CP面接指導
- 15日(月) 海の日
- 22日(月) 1TW・CW第1期実習 ～8/3
- 26日(土) SPオープンキャンパス 13:15～
キッズハウスひかり「夏祭り」
- 30日(木) J・B検CBT 16:30～

広報室より

AO入学選考エントリー受付中！ 夏休みスペシャルオープンキャンパス開催！！

企画広報室 高橋 達也

皆さんこんにちは。実習や就職活動は順調ですか。雨が多く湿った日々が続きますが、日頃から行っている元気な挨拶でがんばって乗り切りましょう！

6月2日から来年度入学のAO入学選考エントリーが始まっています。また7月、8月にはスペシャルオープンキャンパスも開催予定です。夏休みスペシャルオープンキャンパスでは、在校生の皆さんにもご協力いただきながら、参加者の方々が将来目指す仕事や職業についてより深く知っていただく内容を予定しています。ぜひ、このスペシャルオープンキャンパスで皆さんも高校生や、卒業生、企業・施設の方々と接し、自己を高める機会にさせていただきたいと思います。皆さんの周りで福祉や医療、ITやエンタメ分野に興味ある方にぜひお声がけください。この機会を活かして本学の魅力を広く知っていただき、みんなで中村学園を一緒に盛り上げましょう。

夏休みスペシャルオープンキャンパス

一緒に考えよう!!人生100年時代 10年20年先を見据えたしごと体験

7/26

(土)

第1弾

「本学の専門学校生活をイメージしてみよう！」

～本学学生と5年、10年先の未来を描いてみよう！～

8/9

(土)

第2弾

「就職後の働く自分をイメージしてみよう！」

～業界で活躍する本学卒業生から業界への「最短ルート」を描こう！～

8/23

(土)

第3弾

「将来のキャリアアップをイメージしよう！」

～業界のプロと一緒にキャリアデザイン、夢が広がる業界の未来を描こう！～

令和7年度 専門学校静岡電子情報カレッジ 面接指導

「面接指導を通しての気づきと学び」

ITゲーム&ロボットシステム学科2年 出井 陸斗

今回の面接指導を通して、自分の考えを言葉で正確に伝えることの難しさを実感しました。特に、自分の強みや志望理由を伝える際には、曖昧な表現ではなく、具体的なエピソードや根拠を添えることが大切だと感じました。

また、頭の中では整理できているつもりでも、実際には質問の意図とずれた答え方をしてしまい、戸惑う場面もありました。

この経験から、事前に質問を想定し、しっかりと考えを整理しておく準備の大切さを学びました。さらに、先生からのフィードバックだけでなく、他の学生の受け答えを聞くことによって、自分に足りない視点にも気づくことができたのは大きな収穫です。

今後は日常の中でも自分自身を振り返る習慣を大切にし、本番でも落ち着いて自分の思いを伝えられるよう備えていきたいと考えています。